

-(으)ㄴ/는 이상

～する以上、～したからには

日本語の「以上」と同じです。ある前提が成立した以上、当然そうすべきだという論理を示します。

■ つけ方

品詞	形	例
動詞（現在）	-는 이상	하다 → 하는 이상
動詞（過去）	-(으)ㄴ 이상	시작한 이상
形容詞	-(으)ㄴ 이상	어렵다 → 어려운 이상
名詞	인 이상	학생인 이상
後ろ	当然の結論	-아/어야 한다 など
分かち書き	이상 は名詞	시작한 이상

■ 使い方と注意

前提から導かれる結論を示します。시작한 이상 끝까지 해야 합니다（始めた以上最後までやらなければなりません）。

後ろには当然の結論を置きます。-아/어야 한다、-(으)ㄴ 수밖에 없다 など。「そうなった以上こうするしかない」という論理の流れです。日本語の「以上」と同じ働きです。

-(으)니까 との違いは論理性です。니까 が単なる理由なのに対し、이상 は前提が成立したからにはという筋道を示します。

書き言葉寄りですが、あらたまった会話でも使われます。

■ 例文

- 1 시작한 이상 끝까지 해야 합니다.
始めた以上最後までやらなければなりません。
- 2 약속한 이상 지켜야지요.
約束した以上守らなければなりませんよね。
- 3 한국에 사는 이상 한국어는 필요해요.
韓国に住む以上韓国語は必要です。
- 4 학생인 이상 공부가 우선입니다.
学生である以上勉強が優先です。
- 5 이렇게 된 이상 다른 방법이 없다.
こうなった以上他の方法がない。
- 6 맡은 이상 책임을 다하겠습니다.
引き受けた以上責任を果たします。

■ 紛らわしいもの

-(으)니까
単なる理由です。이상 は前提からの論理的な帰結を示します。
시작했으니까（理由） / 시작한 이상（からには）

-(으)ㄴ/는 만큼
「だけに」で程度に応じた結論です。이상 は前提の成立が条件です。
노력한 만큼（応じて） / 시작한 이상（からには）

-(으)ㄴ 바에는
「するくらいなら」で消極的な選択です。이상 は積極的な決意を含みます。
할 바에는（するなら） / 한 이상（したからには）

■ まちがえやすい点

- X 어렵는 이상
○ 어려운 이상
形容詞は -(으)ㄴ 이상 です。
- X 학생 이상
○ 학생인 이상
名詞には 인 をつけます。
- X 시작한이상
○ 시작한 이상
이상 は名詞なので分かち書きします。